



市議員

加増みつ子
佐野 太一

遠山ちえ子
本田かずなり

明るい取手

2024年8月25日号

発行: 日本共産党取手市委員会

◆日本共産党取手市委員会の見解を紹介します。

302-0011 茨城県取手市井野3-19-5

☎ 0297-72-7816 Fax 72-7817

https://jcptoride.com



自民党政治の転換で、平和・暮らし、民主主義守りましょう

日本共産党



79回目の終戦記念日。憲法9条生かし、平和を守ろうと訴える、左ら遠山ちえ子・加増みつ子・本田かずなり市議=8月15日、戸頭

海外で武力行使の道開き 「平和国家」の土台壊す 岸田政権

岸田自公政権は、憲法の平和原則を次々に覆し、最新鋭戦闘機を含む武器輸出の解禁。暮らしの予算を削り5年間で4.3兆円の大軍拡。さらには、改憲案に緊急事態条項と合わせ、9条に自衛隊を明記し、海外での無制限の武力行使に道を開くまさに「平和国家」日本を土台から崩そうとしています。

14日の会見で岸田文雄首相（自民党総裁）は、統一協会の問題や裏金事件について、「国民の政治不信を招く事態が相次いで生じた」として、突然の総裁選への出馬断念を表明。裏金事件などで追い詰められた岸田政権の危機感を感じたかたちです。

裏金事件・統一協会

岸田首相総裁選不出馬 政権投げ出し

憲法9条生かす外交で 「戦争国家づくり」ストップ

自公政権への国民の怒りが広がり、岸田首相がやめても政権のたらいまわしでは政治の中身は変わりません。

日本共産党は、79回目の終戦記念日にあたる15日、

侵略戦争の犠牲になられた内外の方々に哀悼の意を示すとともに、再び戦争の惨禍を起こすことのないよう、平和を願うすべての方々が力を合わせることを呼びかけました。

自公政権の「戦争国家づくり」の危険な暴走をやめさせ、自民政治そのものの転換へ、来る総選挙での日本共産党の躍進と、野党共闘の再構築への協力を訴えました。

「温暖化防止実行計画」掲げ 市街地の緑化や農地保全の実態は

計画は①気温の上昇 ②海面水位の上昇 ③農作物への影響 ④自然災害の増加などへの対策を掲げ、市・市民・事業者は協力連携して取り組むべき基本施策とし、森林・緑地・農地の保全を。市が進めるべき重点課題7項の市民生活・都市生活に、「暑熱による生活への影響等」都市における緑地・水面は、ヒートアイランド現象の緩和に効果がある

為、市街地に緑化や水辺の創出推進を掲げています。しかし、市が管理する街路樹などが根元からまた電柱のように伐採（強剪定）される事態が起きています。6.8haの広大な農地を壊す桑原開発は農地保全の代替策もなく、取手市自ら掲げる「気候非常事態宣言」と相いれないのではないのでしょうか。

猛暑の8月に伐採された街路樹（8月12日撮影）



根本を残し伐採したままの樹木（7月31日撮影）



稲穂が実る豊かな水田地帯（桑原開発が予定されている。8月17日撮影）

取手市

気候非常事態宣言 2020

地球温暖化による異常気象で、これまで人類が経験したことのない猛暑や豪雨、大型台風など自然災害の発生が、世界と日本の各地で人命を奪い故郷を破壊しています。取手市は2020年8月「気候非常事態宣言」を発表し、地球温暖化対策への決意を表明。23年度から2030年度までの「地球温暖化防止実行計画」を策定しました。

9月2日 定例取手市議会開会

中村修市長
就任後初予算（2023年度）の9月決算議会で、市長の予算執行と政治姿勢、来年度予算編成方針を質します。

市民の声を生かします。日本共産党市議団

一般質問予定

- 市民の安全・便利な地域公共交通に。
- 給食費無償化など地産地消の農業振興策を。
- 取手駅前開発と街づくりは市民生活主体に。
- 図書館等公共施設整備・運営は市民合意で。
- 女性の性被害をなくすための施策を。
- 命と健康・財産守る施策と防災対策を。
- 情報公開と庁内伝達周知。
- コロナワクチン・予防接種の改善で命と健康守る市政。
- 取手市「気候危機非常事態宣言」「緑化ガイドライン」に応じる緑の保全・拡充を。

など、市長・教育長に質問します。



街路樹はほぼ無くなった新装開通後の取手駅西口前広場（8月17日撮影）



加増みつ子



遠山ちえ子



佐野 太一



本田かずなり

取手駅 西口開発

駅前開発と図書館を考える

シリーズ3

A街区 地権者の 使途開始は 10月目標

区画整理は大詰めに



3月15日広報で突然「取手駅西口前に移転」と決定したかのように発表された取手図書館

7月30日に取手駅西口交通広場が開通し、区画整理事業はA街区（仮設交通広場）インフラ整備の10月完成予定で最終段階を迎えています。

地権者20人を予定した組合施行の再開発事業参加者は8人に減少し（12人は個別

の土地活用）、資材高騰などを含む計画見直しを迫られています。

予定した再開発事業の都市計画決定はさらに遅れ年明けに、それに伴って、住民説明会や公聴会の予定も遅れています。

図書館は「まちの魅力」の大きな要素

駅前開発を考える会 遠藤 俊夫

前回②では、私たちが日々暮らしていくうえで図書館や公民館などがいかに大切な施設であるかということを書きました。同時に図書館などは、この街にずっと住みたいと思わせる一特に若い子育て世帯にとっては「まちの魅力」の一つの大きな要素ではないでしょうか。

調布市図書館は、「買い物かごを下げて図書館へ」「日本一」役立つ・満足できる図書館に！」をキャッチ

フレーズに、歩いて10分で利用できる、800mに一つ、人口2万人に一つ、小学校区に2つ、という「いつでも どこでも だれでも」利用できる図書館網（本館・分館）を作っています。図書館は、「利用者があらゆる種類の知識や情報をたやすく入手できる地域の情報センター」（ユネスコ公共図書館宣言2022）です。読書に恋するだけでなく、職を求める人、悩みや解決したい課題を抱える人などにも適



工事中のA街区（もと仮設交通広場）
8月17日撮影

切な情報を提供できる、相談業務を含めた図書館サービスが求められています。取手市に住んでみたい人が増えれば、駅前も賑わうのではないのでしょうか。

酷暑の夏 取手利根川大花火 夏祭りを楽しむ



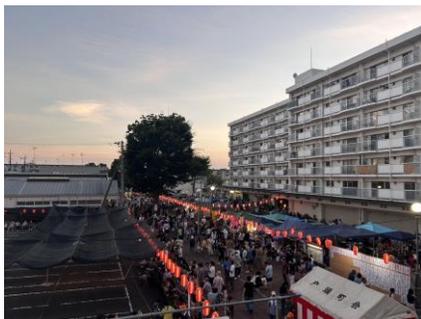
夜空を彩る利根川大花火＝8月10日

利根川大花火、「取手夏祭り」をはじめ、市内各地で夏祭りなど多くの市民らは、平和の願いを胸にこの夏を楽しみました。46回目を迎える戸頭夏祭りが台風一過の17日、団地自治会・町内会等で組織する実行委員会が主催。こど

もみこしと山車の練り歩き、会場は太鼓演奏などで盛り上がり、地元商店や民間保育園のバザー、市民団体など出店が並び賑わいました。



商店街を練り歩く取手夏祭りのお神輿＝8月3日、取手仲町付近



出店が立ち並ぶ夕方の戸頭夏祭りメイン会場＝8月17日

核なき世界を 戦争の惨禍繰り返すな！

8月6日は広島、9日は長崎に原爆投下が、15日は79回目の終戦記念日を迎えました。

核なき平和な世界を、日本が再び戦争の惨禍を繰り返すことのないようにと、原水爆禁止世界大会など、平和を守る国内外の運動と世論が広がりました。



取手でも6日、「核兵器廃絶署名を進める取手の会」が取手駅前、署名行動を行いました。



災害列島

地震と台風各地に、災害への備え新たに

日向灘地震発生により気象庁が初めて南海トラフ地震臨時情報を発表。台風7号が日本列島を襲うなど、災害への備えの必要性を改めて強く感じた夏でした。